

若葉の優しい緑が梅雨間近の雨で一層濃さを増してきました。朝明中周辺の田んぼでも、植えられた苗が心なしか水面から背伸びして見えるように映ります。



00000 - 78107220

学校では中間テストも終わり、その結果が出そろった頃になりました。今年度最初のテストはどうだったのでしょうか？先生にとっても、指導の結果として学習の定着具合がどのようなものであったか気になるところです。保護者の皆さまにも、結果が整い次第、ご報告しますので、お家でも各教科の結果について、たんに点数や出来具合を見るだけでなく、学習上の反省点や改善点を引き出して、次につなげてほしいと願います。

楽しかった自然教室

1年生は5月23日（月）から24日（火）の日程で、水沢の四日市市少年自然の家で「自然教室」を実施しました。「188人の団結と挑戦！～一人一人の自覚とメリハリを大切に」のスローガンのもと、中学生になってはじめての宿泊行事を実施しました。出発前夜の大雨もすっかり忘れるほどの青空の下、全日程を行うことができました。

里山保全活動では、みんなが協力して自然を満喫しながらの伐採作業。さらにその木を使つてのスプーンづくりとモルック用のピンづくり。そして、みんなが心をつながつたキャンドルの集い。そのあとの武将ゲームでの盛り上がり。忘れられない夜になったことでしょう。



2日目の野外炊事では空き缶でご飯を炊くなど、災害時の食事作りに挑戦。火おこしに苦労する場面も見られましたが、な

んとか無事に炊き上がったようです。（多少パサパサのところもありましたが・・・）

自然と向き合い、仲間と向き合い、自分自身と向き合ったこの2日間は、集団生活を通して個々の役割や行動への責任を自覚するとともに、お互いが理解を深め、連帯感を高める貴重な機会になったことは間違いありません。

この経験をこれからの学校生活に活かしてくれることを大いに期待しています。



避難訓練 備えは大丈夫？

中間テストも終わりほっとした直後の5月17日（火）の午後、本年度第1回目の避難訓練を実施しました。12時55分、地震警戒速報のあと、即座に机の下に入りました。

本来であれば、揺れがおさまるのを待って間もなくそれぞれの指定された避難経路を使って避難開始。廊下や階段での「押さない・走らない・しゃべらない・戻らない」から、運動場集合・点呼完了まで時間を計測しながらその様子に反省点などを指摘し合い次になげるところでした。しかし、この日の訓練は、感染症拡大予防のため、あえて、移動や集合はせず、各教室での避難経路や想定動作の確認と担任の先生からの防災に関するお話による訓練としました。避難訓練も、「コロナは想定外」「雨なら延期」などと考えてしまいがちですが、感染症がない時や天気がいい時に災害が起こるわけではありません。

何がいつ起きるかわからない・・・そのようなことを意識しなければならないのがこの時間です。実際の訓練とは違うからと考えるのではなく、災害が起きた時の心構えを改めてこの時間に意識してほしいものです。

南海トラフ地震が起きる確率は今後40年で90%以上に引き上げられました。（今年2022.1.13. 政府の地震調査会）これは、40年後かも知れないし、明日かも知れません。

5月27日（金）には1年生の防災教室も実施され、実際に起震車体験や応急手当の方法なども学びました。学校や家庭などの毎日の生活の中で、自ら判断して行動すること、その経験を重ねることが今こそ大切です。また、地域の防災訓練などにも積極的に参加し、その中で中学生として何ができるかも考えていきたいものです。そのことが自分の命を守り、まわりの命を救うことにもつながっていきます。



絵画を寄贈していただきました

川村隆夫先生より



風景作家（日展会友・光風会会員）の**川村隆夫先生**より、この度、朝明中学校に作品を寄贈していただきました。

川村先生は以前、朝明中学校でお勤めいただいたことがありますので、保護者のみなさんの中には、よくご存じの方も多いことでしょう。

作品は油彩 F100 号の大作「ドゥブロヴニク旧市街」で、日展入選・日展東海展中日賞受賞作品です。近く、玄関に常設展示しますので、ぜひ、ご覧になってください。

川村先生、ありがとうございました。